

住民意向調査速報版（富岡町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、富岡町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

富岡町

調査主体	復興庁、福島県、富岡町
調査対象	世帯の代表者（5,829世帯）
実施期間	令和6年9月2日～9月23日
回答者数	2,176世帯（回収率37.3%）

2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先
（制度班）担当：名須川、向野
電話：03-6328-0250（直通）

富岡町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、富岡町の共同調査は 13 回目。

(1) 帰還の意向

既に富岡町で生活している	11.5% (10.9%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	7.9% (9.4%)
戻りたいが、戻ることができない	17.2% (16.9%)
まだ判断がつかない	12.1% (13.2%)
戻らないと決めている	49.8% (48.3%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R5.8)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療機関 (診療科) の拡充	57.8% (62.6%)
商業施設の充実	48.3% (52.3%)
介護・福祉施設の充実	38.4% (43.3%)
どの程度の住民が戻るかの状況	30.0% (36.4%)
防犯・防火対策の強化	24.0% (24.3%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	64.5% (63.6%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	39.1% (41.0%)
医療環境に不安があるから	29.6% (26.4%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	23.2% (21.8%)
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	17.7% (17.8%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ回答